



新潟県ソウル事務所発



韓国レポート

2019.9.4

<第17回レポート>

韓国ソウル特別市で「日韓交流おまつり」が開催

9月1日、ソウル特別市江南区の国際展示場COEXにて、「日韓交流おまつり 2019 in Seoul」が開催され、新潟県ソウル事務所ではブースを出展し、新潟県の観光・県産品についてPRを行いました。

「日韓交流おまつり」は、日韓国交正常化40周年を記念し、日韓両国の友好の増進を目的に2005年に開催され、今年で15回目となります。現在、日韓情勢の悪化から、一部の民間交流が中止されるなど影響が出ているため、当初、出展者の間では、「おまつりは開催されるのか」、「反対運動など安全面に不安があるのではないか」と開催を危ぶむ声が多く聞かれました。開催当日は入場口での荷物検査が行われ、会場内を警官が巡回するなど厳重な警備が行われたものの、混乱もなく、若者や家族連れなど多くの方々が来場されました。

開幕式では、日本側から河村建夫日韓議員連盟幹事長、外務省鈴木憲和外務政務官をはじめとする国会議員のほか、韓国側からは外交部のイ・テホ第2次官、文化体育観光部のノ・テガン第2次官ら政府関係者らが出席し、来賓のあいさつでは多くの方から「日韓情勢が悪化しているときこそ、日韓交流おまつりをはじめとする民間・人的交流を通じて友好関係を継続することが大切」との話があり、両国間の草の根交流の重要性を訴えておりました。

新潟県ブースでは、新潟県産品の周知を図るため新潟清酒、米菓などの県産品の展示や清酒の試飲を行ったほか、新潟県の観光情報やソウル事務所の活動を知っていただくために、若者を中心に多くの方からソウル事務所のSNSを登録していただき、景品のお猪口の提供には珍しさからか喜んでいただきました。

ブースを訪れた方の中には、「現在の日韓情勢では日本旅行は難しいが、情勢が良くなったらSNSの観光情報を参考にして、ぜひ新潟に行ってみたい。」との声もありました。

